

2 その他の主な計画と目標

注：参考の備考欄は、「直近の状況」に掲げた数値の把握時期（期間）を示す。
 なお、「年実績」は1月～12月の合計値、「年度実績」は4月～翌年の3月の合計値

No.	名 称 (担当課室名)	計 画 概 要	参 考		
			目標年及び 主な目標数値	直近の状況	備考
1	みやぎの「食」 ブランド化推進 方針 (食産業振興課)	ブランド化の定義等基本的な 考え方を整理し、ブランド化 推進のための施策の方針を定 めたもの。消費者の感動・共 感を生むブランド化の推進や 県産ブランド品の創出を基本 方針として掲げる。 【平成22年3月策定】 【令和3年8月改正】	目標年：R12(2030)年 目標数値設定なし	—	—
2	宮城県みどりの 食料システム推 進基本計画 (農業政策室)	国の「みどりの食料システム 戦略」を踏まえ、本県の農林 水産業における環境負荷低減 に関する基本的な方針等を掲 げる。 【令和5年3月策定】 【令和8年3月改正】	目標年：R12(2030)年度 農林水産分野のカーボン・ オフセット制度利用件数 累計10件以上	9件	R7.3.31現在
3	みやぎの有機農 業推進計画 (みやぎ米推進 課)	環境負荷低減や生物の多様性 保全等の取組を推進するた め、有機農業推進に係わる施 策を掲げるもの。 【平成21年10月策定】 【令和3年3月改訂】	目標年：R12(2030)年度 有機JAS取組面積 500ha	—	—
4	農業経営基盤の 強化の促進に関 する基本方針 (農業振興課)	農地流動化施策や担い手育成 施策等の総合的な方針。目標 とすべき所得水準、労働時間 等の基本的な考え方や、営農 類型及び経営形態ごとの経営 規模、生産方式等の指標と示 すもの。 【令和3年4月策定】 【令和5年5月改正】 【令和8年4月改正】	目標年：R17(2035)年度 認定農業者数 4,000経営体 担い手への 農地利用集積割合 80%	5,369経営体 65.5%	R7.3.31現在 R7.3.31現在
5	農業試験研究推 進構想 (農業振興課)	新たな技術開発を通じた農業 振興の支援を目的に、時代の ニーズに対応した農産物の安 定供給、技術革新の活用によ る戦略的な農業生産、持続可 能な農業生産環境の構築を主 要目標として掲げるもの。 【令和3年3月策定】	目標年：R12(2030)年度 普及に移す技術の開発件数 135件 (R1～R12累計)	76件	R1～R6年度 の累計

No.	名 称 (担当課室名)	計 画 概 要	参 考		
			目標年及び 主な目標数値	直近の状況	備考
6	第3期みやぎ農業農村整備基本計画 (農村振興課)	食農基本計画に基づく農業農村整備分野の実施計画。農業生産基盤の整備、農村の活性化、農業・農村の防災対策に関わる施策を掲げるもの。 (第1期：H14～H22) (第2期：H23～R2) 【令和3年3月策定】 【令和8年3月改正】	目標年：R12(2030)年度 汎用化水田面積 82,000ha	80,317ha	R6年度実績
7	みやぎ園芸特産振興戦略プラン (園芸推進課)	食農基本計画に基づく園芸部門の行動計画。先進技術を駆使した施設園芸の推進、大区画ほ場等を活用した露地園芸の推進、食品関連産業等との連携による園芸サプライチェーンの構築、園芸産地の発展に向けた多様な人材等の確保・育成を基本方針として掲げ、重点振興品目ごとの振興策を示すもの。 【令和8年3月策定】	目標年：R12(2030)年 園芸特産産出額 544億円	364億円	R5年実績
8	宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画 (畜産課)	望ましい酪農・肉用牛生産の姿の実現に向けて取り組むべき施策の方向性を明らかにし、生産目標、経営方式、飼養規模等の指標を示すもの。 【令和3年9月策定】	目標年：R12(2030)年度 乳用牛 18,900頭 生乳生産量 122,100 t 肉用牛 102,500頭	14,900頭 92,345 t 76,100頭	R7.2.1現在 R6年実績 R7.2.1現在
9	宮城県家畜改良増殖計画 (畜産課)	家畜改良増殖法に基づき国が策定した「家畜改良増殖目標」を受けて、乳用牛、肉用牛、豚の改良増殖の目標を掲げるもの。 【令和3年3月策定】	目標年：R12(2030)年度 乳用牛 総頭数 18,900頭 うち2歳以上の雌牛頭数 14,300頭 肉用牛 総頭数 102,500頭 豚 総頭数 202,450頭	14,900頭 11,800頭 76,100頭 180,000頭	R7.2.1現在 R7.2.1現在 R7.2.1現在 R6.2.1現在
10	みやぎ農山漁村交流拡大推進方針 (農山漁村なりわい課)	持続可能な農山漁村づくりをめざし、農山漁村地域での体験や宿泊、都市部の企業や人材との連携などの多様な都市農村交流を推進し、交流・関係人口の拡大を図るプラン。地域や人材の育成、地域資源を活用した交流コンテンツづくり等を基本方針として掲げる。 【令和3年5月策定】 【令和8年3月改正】	目標年：R12(2030)年度 農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数 120団体 都市と農村の交流活動事業に参加した人数(関係人口) 500人	98団体 492人	R6年度実績 R6年度実績

No.	名 称 (担当課室名)	計 画 概 要	参 考		
			目標年及び 主な目標数値	直近の状況	備考
11	みやぎ地域資源 活用価値創出推 進プラン (農山漁村なり わい課)	従来の6次産業化にとどまら ず、自然、伝統、文化、人材 などの地域資源を最大限に活 用し、その魅力を組み合わ せ、多様な事業者間との連携 による新たな価値創出の推進 を基本方針として掲げる。 【令和6年10月策定】	目標年：R12（2030）年度 農産物直売所の年間販売額 170億円	135億円	R6年度実績